

4 介護保険サービスの利用実態と利用意向

つぎに利用者の介護保険サービスの利用実態と利用意向を見る。

<まとめ>

介護保険制度導入後にサービスを利用しはじめた人は、約3割である。
居宅サービスでは、「訪問介護(家事援助主体)」「通所介護(デイサービス)」「福祉用具の貸与・購入費の支給」などがよく利用されている。
居宅サービスで「利用したい」サービスの上位3位は上記と同じ。施設サービスでは、「利用しない」が「利用したい」を上回っている。

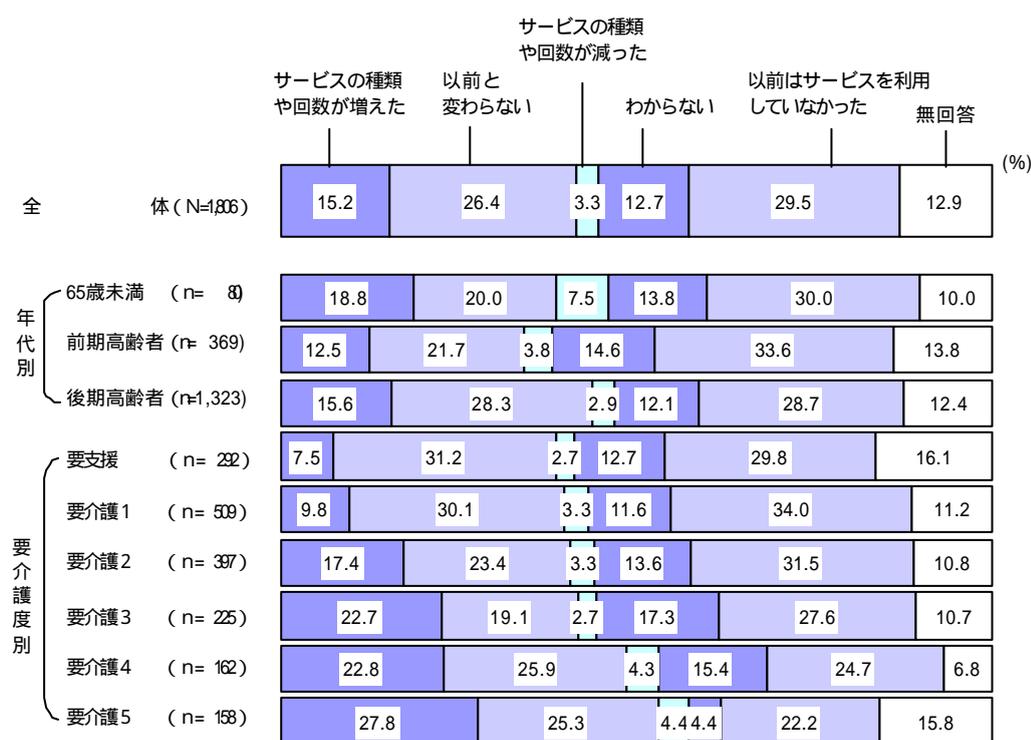
(1) 介護保険制度導入によるサービス利用の変化

利用者に対し、介護保険制度が始まったことによる利用の変化をたずねたところ、「以前はサービスを利用していなかった」は29.5%、「以前と変わらない」は26.4%、「サービスの種類や回数が増えた」は15.2%となっている。

年代別では、あまり大きな違いは見られない。

要介護度別に見ると、要介護3以上では「サービスの種類や回数が増えた」が2割台で、特に要介護5では3割近くになっている。要介護1では、「以前はサービスを利用していなかった」割合が比較的高く34.0%である(図表 - 4 - 1)。

図表 - 4 - 1 介護保険制度導入によるサービス利用の変化
(利用者調査/全体、年代別、要介護度別)

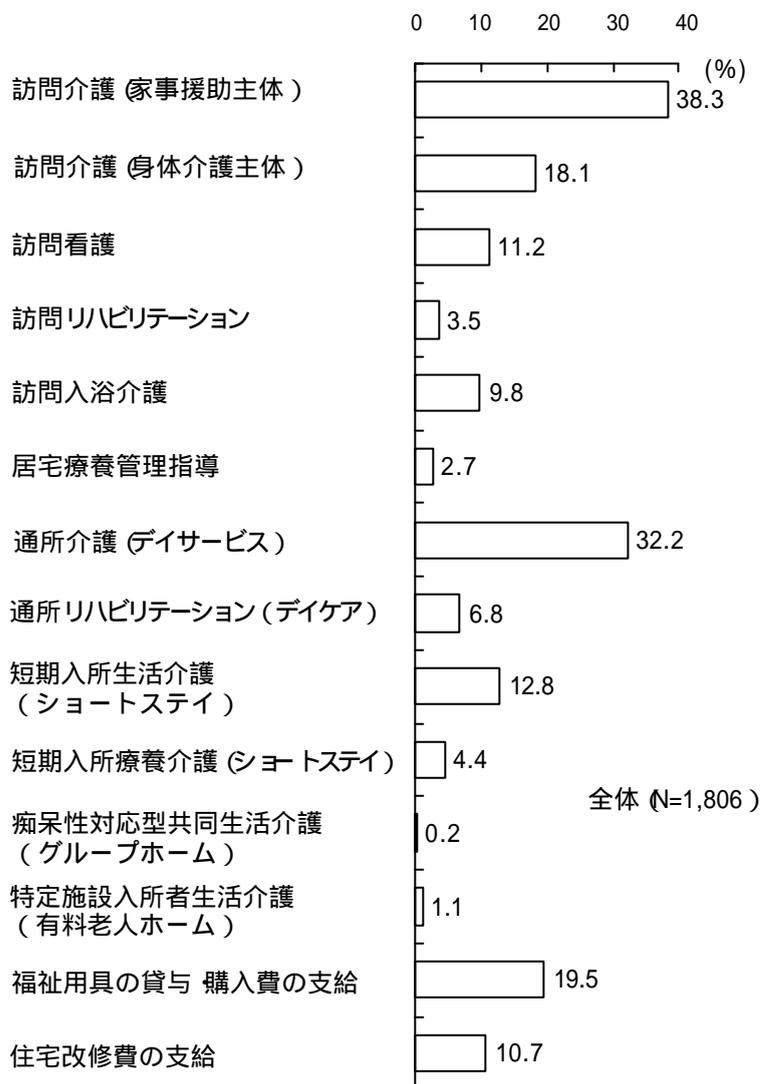


(2) 現在利用しているサービス

利用している居宅サービス

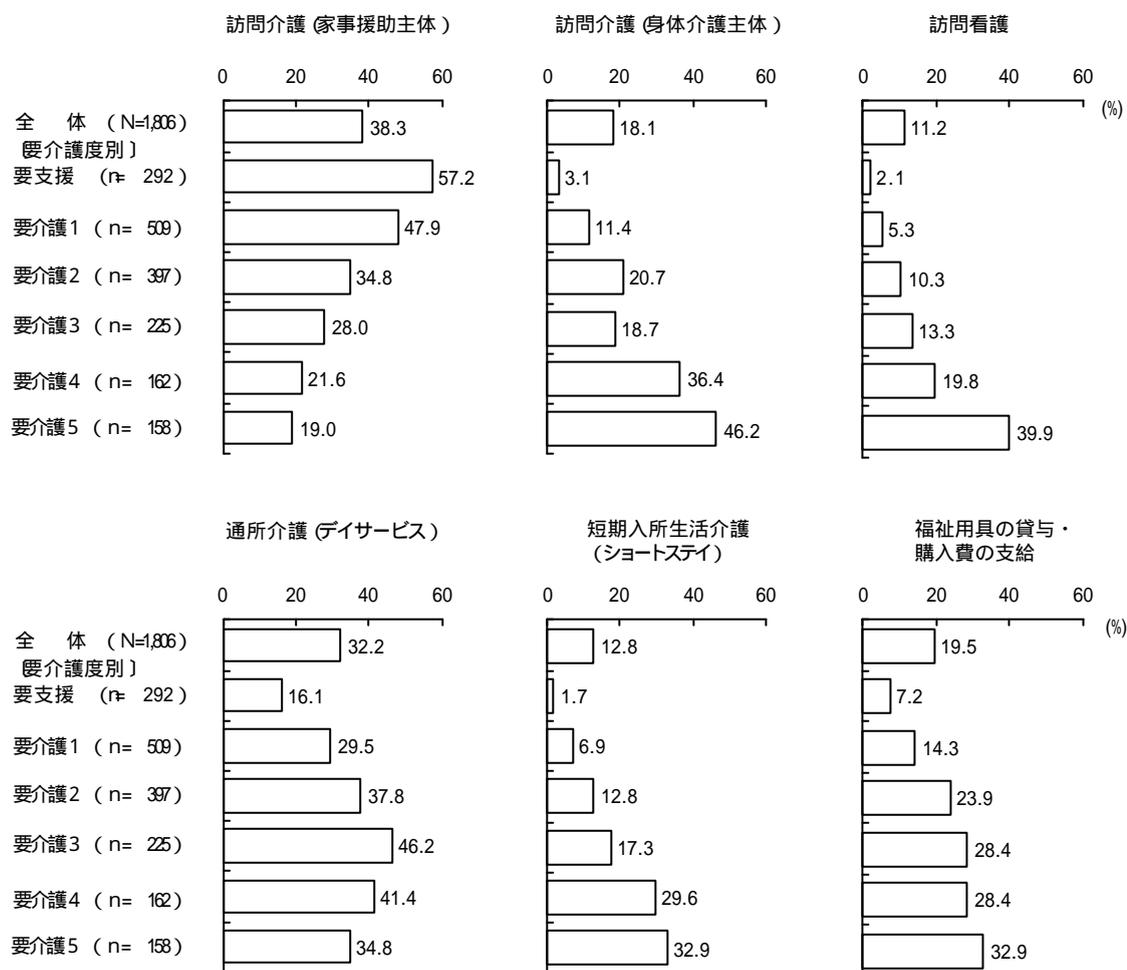
利用者に対し、利用している居宅サービスをたずねたところ、「訪問介護(家事援助主体)(38.3%)」「通所介護(デイサービス)(32.2%)」「福祉用具の貸与・購入費の支給(19.5%)」の順に多くなっている(図表 - 4 - 2 -)

図表 - 4 - 2 - 利用している居宅サービス
(利用者調査/全体/複数回答)



つぎに利用している居宅サービスの上位6位を要介護度別に見ていく。「訪問介護(家事援助主体)」では、要支援の6割近くと要介護1の半数近くが利用しているが、要介護度が上がるにつれて利用が少なくなっている。「訪問介護(身体介護主体)」では、要介護4～5の利用が3～4割台で高くなっている。「訪問看護」「短期入所生活介護(ショートステイ)」「福祉用具の貸与・購入費の支給」では、要介護度が上がるにつれて利用も多くなっている(図表 - 4 - 2 -)

図表 - 4 - 2 - 利用している居宅サービス(上位6位のみ)
(利用者調査/全体、要介護度別/複数回答)



介護保険制度導入による介護保険サービス利用の変化

介護保険制度導入による利用の変化別に介護保険サービスの利用を見ると、サービスの種類や回数が増えた人は、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」や「短期入所生活介護（ショートステイ）」などを利用する割合が高くなっている。以前はサービスを利用していなかった人は、「福祉用具の貸与・購入費の支給」を利用する割合が比較的高くなっている（図表 - 4 - 3）

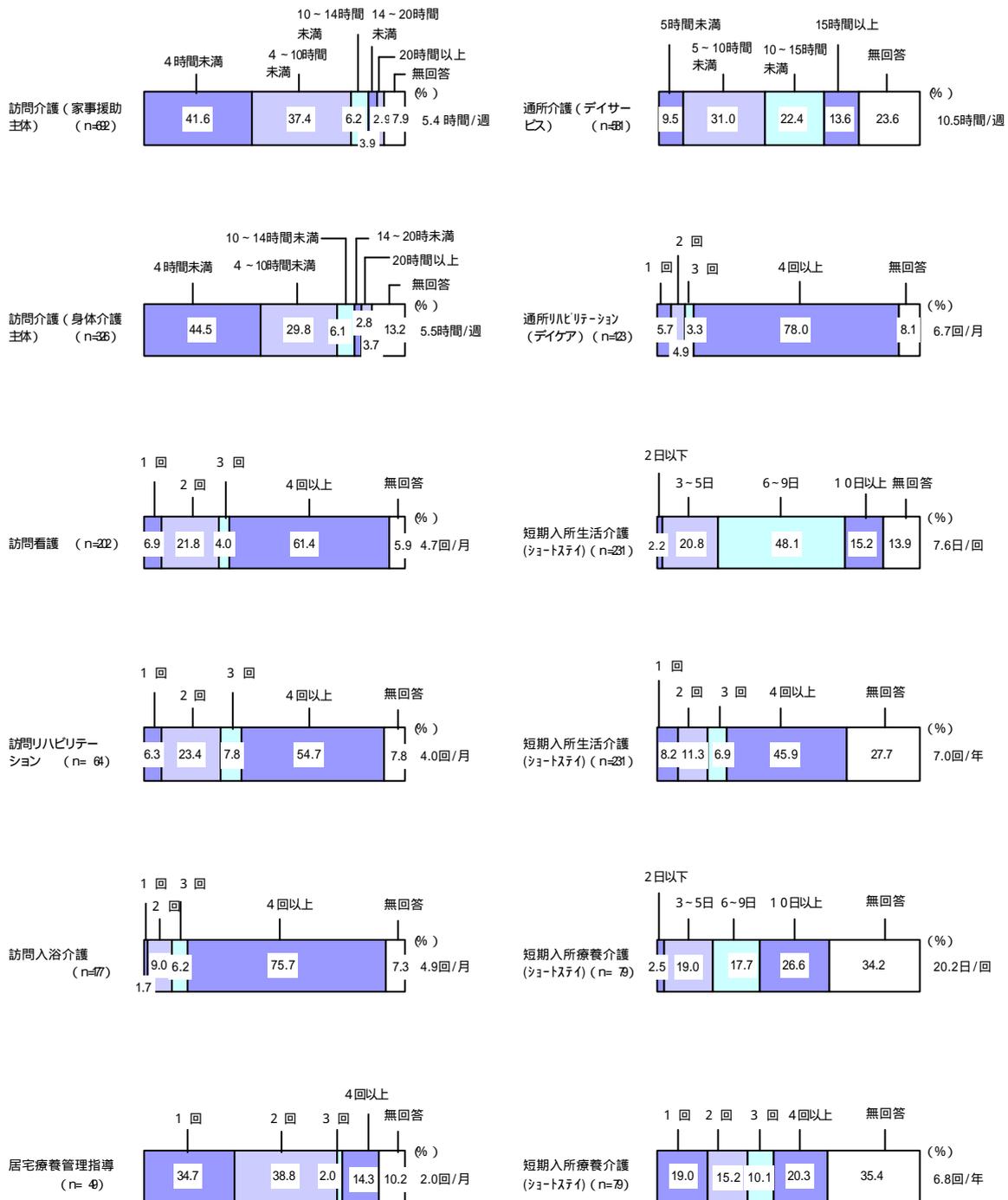
図表 - 4 - 3 介護保険制度導入による介護保険サービス利用の変化
（利用者調査 / 全体、介護保険制度導入による利用の変化別 / 複数回答）

		訪問介護 （ホームヘルプサービス）	訪問看護	訪問リハビリテーション	訪問入浴介護	居宅療養管理指導	通所介護 （デイサービス）	通所リハビリテーション （デイケア）	短期入所生活介護 （ショートステイ）	短期入所療養介護 （ショートステイ）	痴呆対応型共同生活介護 （グループホーム）	特定施設入所者生活介護 （有料老人ホーム）	福祉用具の貸与・購入費の支給	住宅改修費の支給	無回答
全 体	(N=1,806)	43.0	14.7	3.5	11.0	2.5	31.5	7.9	14.6	3.4	0.3	1.3	21.3	12.0	16.1
サービスの種類や回数が増えた	(n= 274)	61.3	22.3	6.9	21.9	5.8	42.3	8.8	29.6	6.2	0.7	1.1	28.8	14.2	4.0
以前と変わらない	(n= 477)	47.4	15.7	3.4	11.3	2.1	33.5	9.6	14.3	3.1	0.2	1.3	19.7	9.0	10.5
サービスの種類や回数が減った	(n= 60)	43.3	18.3	3.3	15.0	3.3	36.7	8.3	16.7	3.3	-	-	18.3	8.3	11.7
わからない	(n= 229)	27.9	11.8	3.9	6.6	0.9	29.3	7.0	13.5	4.4	0.4	2.6	15.3	13.1	23.6
以前はサービスを利用していなかった	(n= 533)	45.0	13.9	2.6	9.2	2.1	32.6	7.9	12.0	2.3	0.4	0.8	26.1	15.9	8.4

利用時間や利用の回数

利用者に対し、利用しているサービスの時間や回数をたずねた。平均利用時間は、「訪問介護（家事援助主体）」が5.4時間/週、「訪問介護（身体介護主体）」が5.5時間/週、「通所介護（デイサービス）」が10.5時間/週などとなっている（図表 - 4 - 4）

図表 - 4 - 4 利用時間・利用回数（利用者調査/全体）

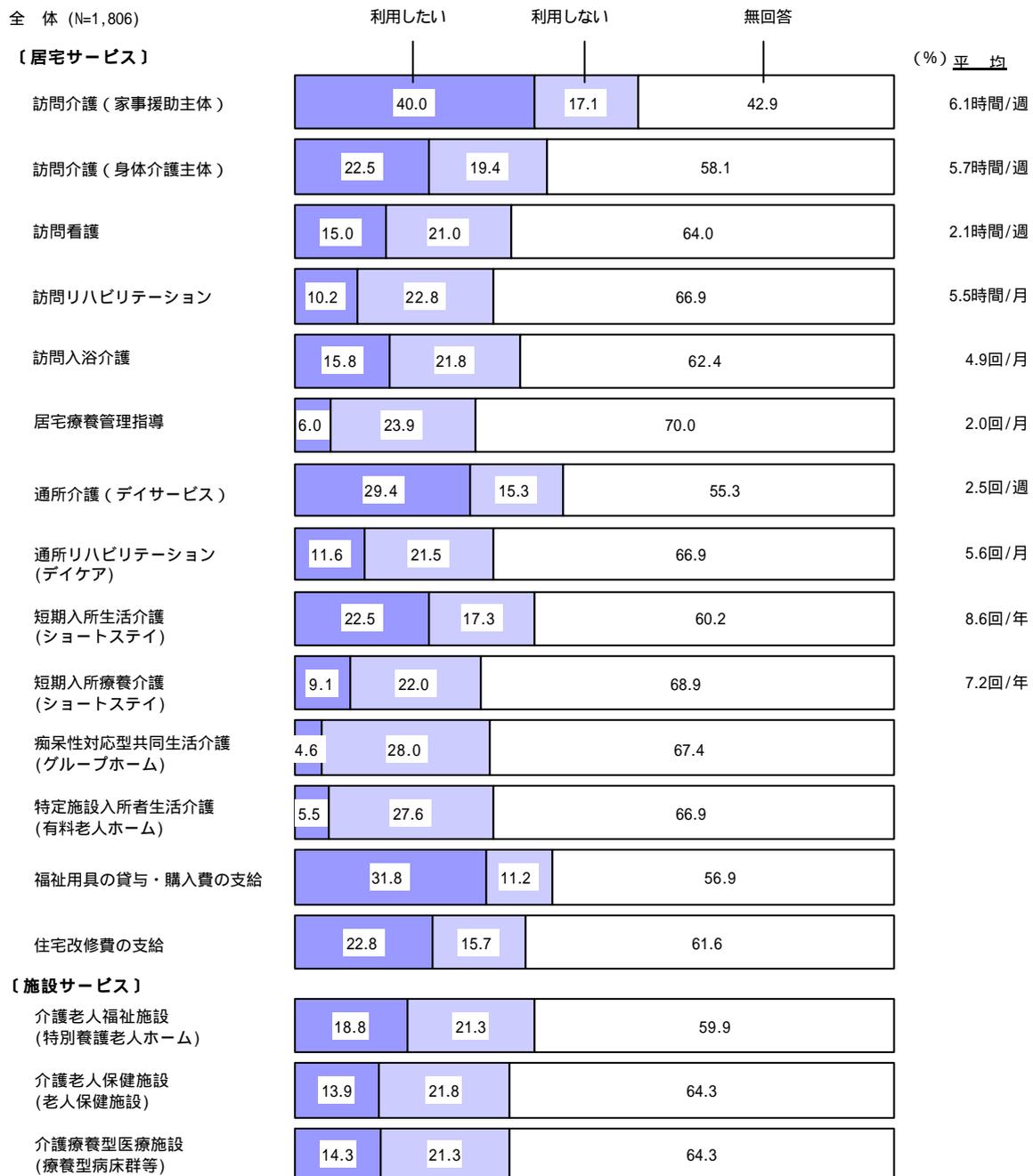


この平均利用時間・回数は、選択肢に基づいて時間・回数の総量を出し、それを回答者数（無回答を除く）で割ったものである。それぞれ各選択肢の回数（日数）中間値、下限がないものについては0との中間値を基準値とした。また、上限がないものは適宜項目により、基準値を設定し、算出した。

(3) 今後利用したい介護保険サービス

利用者に対し、今後利用したい介護保険サービスをたずねたところ、居宅サービスでは「訪問介護（家事援助主体）（40.0%）」「福祉用具の貸与・購入費の支給（31.8%）」「通所介護（デイサービス）（29.4%）」などの順に利用意向が高い。施設サービスについては、「利用しない（2割台）」が「利用したい（1割台）」を上回っている（図表 - 4 - 5 - ）

図表 - 4 - 5 - 今後利用したい介護保険サービス（利用者調査 / 全体）



*平均は、「利用したい」人の平均利用希望時間・回数
*算出方法についてはp51を参照

つぎに今後利用したい介護保険サービスの上位6位を要介護度別に見ていく。「訪問介護（家事援助主体）」では、要支援と要介護1の利用意向が高く5割前後で、要介護度が上がるにつれて利用意向は低くなっている。「訪問介護（身体介護主体）」と「短期入所生活介護（ショートステイ）」では、要介護度が上がるにつれて利用意向も高くなっている。（図表 - 4 - 5 - ）

図表 - 4 - 5 - 今後利用したい介護保険サービス（上位6位のみ）
（利用者調査 / 全体、要介護度別）

